

## 情 報 公 開 文 書

研究の名称	ALK 陽性非小細胞肺癌の治療に関する後方視的観察研究
研究機関の名称	富山県立中央病院
研究責任者	呼吸器内科 医長 津田岳志
研究の概要	<p>【研究対象者】</p> <p>2012年から2021年12月の間に当院でALK阻害薬(ザーコリ、アレセンサ、ジカディア、ローブレナ、アルンプリグ)での治療歴のある非小細胞肺癌患者さんを対象とします。</p> <p>【研究の目的・意義】</p> <p>現在、日本の保険診療で使用可能なALK(anaplastic lymphoma kinase)阻害薬は5種類と増加しており、殺細胞性抗癌剤や免疫療法薬を含めてその適切な治療シーケンスは議論があるところです。今回、当院のALK融合遺伝子陽性非小細胞肺癌の患者さんの診療について後ろ向きの観察研究を行い、こうした患者さんの治療に関する考察を行うことを目的とし、本研究を計画しました。</p> <p>【研究の方法】</p> <p>富山県立中央病院で診療を受けた上記の対象患者さんの診療録情報を研究に用います。個人情報が入り込まないように、氏名やカルテ番号などは研究に用いません。</p> <p>【研究期間】</p> <p>上記の期間の患者さんを対象とし2023年3月までにデータの解析を行う予定です。</p> <p>【研究結果の公表の方法】</p> <p>学会や講演会での発表を予定します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	本研究では、年齢、性別、喫煙歴、病期、Performance status、転移部位、診断に用いた検査、治療内容、治療期間、中止理由、有害事象、転帰の情報を研究に用いる予定となっています。個人情報は厳重に保護されます。これらの情報は富山県立中央病院内で解析されます。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	<p>情報を利用する機関：富山県立中央病院</p> <p>施設責任者：呼吸器内科 医長 津田岳志</p>
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者	富山県立中央病院 呼吸器内科 医長 津田岳志
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-424-1531(代表)</p> <p>E-mail ttsuda-tym@umin.ac.jp</p> <p>担当者所属・氏名 呼吸器内科 医長 津田岳志</p>